



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年10月31日

上場会社名 田岡化学工業株式会社

上場取引所 大

コード番号 4113 URL <http://www.taoka-chem.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 津田 重典

問合せ先責任者 (役職名) 事業支援室部長

(氏名) 小和田 晴彦

TEL 06-6394-1221

四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日

配当支払開始予定日

平成23年11月24日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	9,028	5.2	517	△14.9	494	△15.5	320	△4.9
23年3月期第2四半期	8,580	22.3	608	207.5	584	251.9	337	499.3

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 315百万円 (4.0%) 23年3月期第2四半期 303百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	22.32	—
23年3月期第2四半期	23.47	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	16,922		6,450			38.1
23年3月期	16,099		6,178			38.4

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 6,450百万円 23年3月期 6,178百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	円 銭	
23年3月期	—	3.00	—	3.00	6.00	6.00
24年3月期	—	3.00	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	3.00	—	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,600	0.3	850	△6.0	800	△5.3	400	△19.5	27.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.3「サマリー情報(その他)」に関する事項(2)四半期連結財務表の作成に特有の会計処理の適用をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 有

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更を行っております。詳細は、添付資料P.3「サマリー情報(その他)」に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期2Q	14,440,000 株	23年3月期	14,440,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

24年3月期2Q	82,267 株	23年3月期	80,167 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	14,358,890 株	23年3月期2Q	14,362,418 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページに「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

目 次

1 . 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2 . サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3 . 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、3月11日に発生した東日本大震災の影響や電力供給の制約等により、経済活動および個人消費が停滞し、その後徐々に回復の兆しが見受けられるものの、長引く円高や原材料価格の上昇等、景気の先行きは不透明な状態が続いております。

このような状況の中で、当社グループは、拡販努力等の業績改善に傾注し、また、原料価格の上昇に相応した販売価格の適正化に取り組んでまいりました。その結果、当第2四半期連結累計期間の当社グループの売上高は90億28百万円となり、前年同四半期連結累計期間に比べて4億47百万円の増収となりました。損益面におきましては、営業利益は5億17百万円（前年同四半期比90百万円減、14.9%減）、経常利益は4億94百万円（同90百万円減、15.5%減）、四半期純利益は3億20百万円（同16百万円減、4.9%減）となりました。

セグメント別の売上高の概況

区 分	前年第2四半期 連結累計期間		当第2四半期 連結累計期間		増 減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
精密化学品部門	3,435	40.0	3,779	41.8	343	10.0
機能材部門	1,561	18.2	1,551	17.2	9	0.6
機能樹脂部門	1,019	11.9	899	10.0	119	11.7
化成品部門	2,401	28.0	2,608	28.9	207	8.6
化学工業セグメント	8,417	98.1	8,838	97.9	421	5.0
そ の 他	162	1.9	189	2.1	26	16.5
合 計	8,580	100.0	9,028	100.0	447	5.2

【化学工業セグメント】

当セグメントの売上高は、88億38百万円と、前年同四半期連結累計期間に比べて4億21百万円の増収となりました。

(精密化学品部門)

医薬中間体の出荷数量が減少したものの、農薬中間体の出荷が大幅に増加したため、売上高は37億79百万円と、前年同四半期連結累計期間に比べて3億43百万円の増収となりました。

(機能材部門)

ゴム薬品の出荷数量は増加いたしましたが、接着剤の出荷数量の減少をカバーできず、売上高は15億51百万円と、前年同四半期連結累計期間に比べて9百万円の減収となりました。

(機能樹脂部門)

加工樹脂・ワニスとも出荷数量が減少したため、売上高は8億99百万円と、前年同四半期連結累計期間に比べて1億19百万円の減収となりました。

(化成品部門)

可塑剤の出荷数量が増加したことに加え原料価格の高騰に伴う販売価格の適正化に努めたことにより、売上高は26億8百万円となり、前年同四半期連結累計期間に比べて2億7百万円の増収となりました。

【その他】

化学分析受託事業の売上高は、土壌関係の受注が増加したため1億89百万円となり、前年同四半期連結累計期間に比べて26百万円の増収となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて6.7%増加し、95億67百万円となりました。これは、主として受取手形及び売掛金が増加したことなどによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて3.1%増加し、73億55百万円となりました。これは、主としてゴム薬品製造工場の増強等による設備投資額が、減価償却費等の減少を上回ったことなどによるものです。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の総資産額は169億22百万円となり、前連結会計年度末と比較して8億23百万円の増加となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて3.8%増加し、78億21百万円となりました。これは、主として支払手形及び買掛金が増加したことなどによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて11.0%増加し、26億50百万円となりました。これは、主として新規の長期借入れを実施したことなどによるものです。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて5.6%増加し、104億71百万円となりました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産額は、前連結会計年度末に比べて4.4%増加し、64億50百万円となりました。これは、主として利益剰余金の増加などによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期連結業績予想につきましては、平成23年5月11日公表数値から変更しておりません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

原価差異の繰延処理

操業度等の季節的な変動に起因した原価差異が発生し、原価計算期間末までにほぼ解消が見込まれる場合には、当該原価差異を繰延べております。

税金費用の計算

一部の連結子会社については、当第2四半期累計期間を含む年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

当社および国内子会社は、第1四半期連結会計期間より有形固定資産の減価償却方法を定率法から定額法に変更いたしました。

親会社である住友化学株式会社の会計方針の変更を契機として有形固定資産の使用実態を見直した結果、生産形態の変化に伴い稼働率が安定していることから定額法が当社の企業活動をより適切に反映した減価償却方法と判断しております。

これにより、従来の方法によった場合と比較して当第2四半期連結累計期間の減価償却費は212,304千円減少し、営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益は、それぞれ157,987千円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	328,948	406,687
受取手形及び売掛金	4,364,957	4,833,963
商品及び製品	2,540,332	2,596,532
仕掛品	48,541	25,892
原材料及び貯蔵品	1,344,355	1,413,960
その他	336,491	290,247
貸倒引当金	177	163
流動資産合計	8,963,449	9,567,120
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,702,644	6,721,627
減価償却累計額	4,413,392	4,475,165
建物及び構築物（純額）	2,289,251	2,246,462
機械装置及び運搬具	16,851,941	17,222,357
減価償却累計額	14,317,114	14,510,515
機械装置及び運搬具（純額）	2,534,826	2,711,841
その他	3,078,804	3,203,432
減価償却累計額	1,482,526	1,488,950
その他（純額）	1,596,277	1,714,481
有形固定資産合計	6,420,356	6,672,786
無形固定資産	35,492	30,072
投資その他の資産		
その他	682,807	655,249
貸倒引当金	3,100	3,100
投資その他の資産合計	679,707	652,149
固定資産合計	7,135,556	7,355,008
資産合計	16,099,005	16,922,129

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,422,800	3,806,078
短期借入金	1,666,955	2,226,799
1年内返済予定の長期借入金	740,000	218,500
未払法人税等	227,039	152,412
賞与引当金	369,144	369,557
その他	1,107,417	1,047,797
流動負債合計	7,533,356	7,821,146
固定負債		
長期借入金	845,000	1,171,000
退職給付引当金	1,252,410	1,216,257
役員退職慰労引当金	56,300	29,937
その他	233,633	233,306
固定負債合計	2,387,343	2,650,501
負債合計	9,920,700	10,471,647
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,572,000	1,572,000
資本剰余金	1,008,755	1,008,755
利益剰余金	3,691,221	3,968,607
自己株式	21,952	22,350
株主資本合計	6,250,024	6,527,012
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	49,791	42,859
為替換算調整勘定	121,511	119,390
その他の包括利益累計額合計	71,720	76,530
純資産合計	6,178,304	6,450,481
負債純資産合計	16,099,005	16,922,129

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	8,580,766	9,028,672
売上原価	6,803,507	7,360,201
売上総利益	1,777,259	1,668,470
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	238,885	248,156
給料手当及び福利費	421,980	415,024
退職給付引当金繰入額	9,924	20,348
役員退職慰労引当金繰入額	8,758	9,787
研究開発費	215,556	227,541
その他	273,389	229,647
販売費及び一般管理費合計	1,168,492	1,150,506
営業利益	608,766	517,964
営業外収益		
受取利息	131	342
受取配当金	1,776	1,970
その他	8,782	5,107
営業外収益合計	10,690	7,420
営業外費用		
支払利息	26,146	22,997
為替差損	4,446	7,978
その他	4,313	204
営業外費用合計	34,907	31,180
経常利益	584,549	494,204
特別利益		
退職給付制度終了益	9,839	-
特別利益合計	9,839	-
特別損失		
固定資産除却損	16,730	5,859
過年度消費税等	33,053	-
関連事業損失	-	21,414
特別損失合計	49,783	27,274
税金等調整前四半期純利益	544,605	466,930
法人税、住民税及び事業税	174,084	145,199
過年度法人税等	-	23,319
法人税等調整額	33,388	24,584
法人税等合計	207,473	146,464
少数株主損益調整前四半期純利益	337,132	320,465
四半期純利益	337,132	320,465

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	337,132	320,465
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,821	6,931
為替換算調整勘定	27,694	2,121
その他の包括利益合計	33,515	4,810
四半期包括利益	303,617	315,654
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	303,617	315,654

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）

該当事項はありません。